

小さいのちが遺した
伝えなくてはいけないこと。
忘れてはいけないこと。

生きる

大川小学校 津波裁判を闘った人たち

「なぜわが子が学校で最期を迎えたのか」10年間にわたり、
その答えを探して撮影し続けてきた親たちの記録

10.29(日) 上映決定

[午前の部] 10:15 開始 12:30 終了 (監督の講演あり)

[午後の部] 13:15 開始 16:30 終了

午後の部映画上映後、ゲストによる座談会「かまくら防災みらい会議」を行います
映画は日本語字幕付きです

鎌倉商工会議所地下ホール

一般 1,500円

学生(大学生以下) 1,000円

チケットお申し込み



上記QRコードから
申込フォームに
お進みください

監督: 寺田和弘 プロデューサー: 松本裕子 協力: 大川小学校児童津波被災遺族原告団、吉岡和弘、齋藤雅弘 主題歌: 「駆けて来てよ」(歌: 廣瀬奏)
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会 製作: 株式会社ハオネットワーク 配給: きろくひと
2022年 / 日本 / 16:9 / 124分 ©2022 PAO NETWORK INC. ikiru-okawafilm.com

2022年文部科学省選定作品

全国民必見のドキュメンタリーです

——尾木直樹 (教育評論家 / 法政大学名誉教授)

自らの時代の不条理との関わり方を強く考えさせられる、
そんな力を持った作品です。

——堤 幸彦 (映画監督)

生きること。忘れてはならないこと。私達にできること。
震災から12年が経った今も強いメッセージが伝わってきます。

——竹下景子 (俳優)



生きる

大川小学校 津波裁判を闘った人たち

「あの日、何があったのか」「事実と理由が知りたい」 親たちの強い思いが、10年にわたる唯一無二の記録となった

2011年3月11日に起こった東日本大震災で、宮城県石巻市の大川小学校は津波に
のまれ、全校児童の7割に相当する74人の児童(うち4人は未だ行方不明)と10人
の教職員が亡くなった。地震発生から津波到達までには約51分、ラジオや行政の防
災無線で情報は学校側にも伝わりスクールバスも待機していた。にもかかわらず、学
校で唯一多数の犠牲者を出した。この惨事を引き起こした事実・理由を知りたいと
いう親たちの切なる願いに対し、行政の対応には誠意が感じられず、その説明に嘘
や隠ぺいがあると感じた一部の親たちは真実を求め、石巻市と宮城県に対して国家
賠償を求めて提訴に至る。彼らは震災直後から、そして裁判が始まってからも記録を
撮り続け、のべ10年にわたる映像が貴重な記録として残ることになっていく——

弁護団はたった2人の弁護士 親たちが“わが子の代理人”となり 裁判史上、画期的な判決に——

この裁判の代理人を務めたのは吉岡和弘、齋藤雅弘の両弁護士。
わずか2人の弁護団で、原告となった親たちは「金がほしいのか」といわれのない誹
謗中傷も浴びせられる中、事実上の代理人弁護士となって証拠集めに奔走する。彼
らにとって裁判で最も辛かったのはわが子の命に値段をつけなければならないこと
だった。それを乗り越え5年にわたる裁判で「画期的」と言われた判決を導く。
親たちが撮り続けた膨大な量の記録を寺田和弘監督が丁寧に構成・編集し、独自
の追加撮影もあわせて、後世に残すべき作品として作り上げた。



【大川小学校 311当日の行動】

- 14時 46分 地震発生
- 50分ごろ 校庭に移動し、そのまま校庭に待機
- 52分 大津波警報 防災行政無線 (予想津波高6m)
- 15時 10分ごろ 大津波警報 防災行政無線 (2回目)
- 20分ごろ 消防車「高台避難」呼び掛け
大川小学校前を通過
- 28分ごろ 石巻市広報車
「追波湾の松林を津波が越えた」と
「高台避難」を呼び掛け、
大川小学校前を通過
- 35分ごろ 「三角地帯」への移動を開始
- 37分ごろ 大川小に津波が到達

<https://ikiru-okawafilm.com>

監督 | 寺田和弘 プロデューサー | 松本裕子 撮影 | 藤田和也、山口正芳 音効 | 宮本陽一 編集 | 加藤裕也 MA | 高梨智史 協力 | 大川小学校児童津波被災遺族原告団、吉岡和弘、齋藤雅弘
主題歌:「駆けて来てよ」(歌:廣瀬奏) バリアフリー版制作: NPO メディア・アクセス・サポートセンター 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会
後援: 宮城県 製作: (株)パオネットワーク 宣伝美術: 迫川恵子 配給: さろくびと 2022年/日本/16:9/124分 ©2022 PAO NETWORK INC. 2022年文部科学省選定作品 東京都推奨映画

座談会「かまくら防災みらい会議」(午後の部上映後に開催)

東日本大震災発災以降、海・山の自然に囲まれたこの鎌倉でも
様々の形で防災に対する取り組みが行われてきました。12年が過
ぎた今、改めて東北に学び、アップデートを重ねる必要があります。
今回は3人のゲストをお迎えし、これからの鎌倉の防災について
会場にお越しの皆さまと共に考え話し合う座談会を開催します。



コーディネーター
かもん まゆ氏

(一社)スマートサプライビジョン
特別講師/防災士
被災のリアルと大切な人を守る
知恵を伝える。



スピーカー
寺田 和弘氏

映画監督
主に社会問題を中心に番組制作
を行う。本映画が長編ドキュ
メンタリー映画初監督作品。



スピーカー
高橋 洋平氏

鎌倉市教育委員会教育長
令和5年8月より現職。

2023 **10.29** (日) [午前] 10:15 ~ [午後] 13:15 ~

【主催】 七七支援隊 (七里ガ浜発七ヶ浜復興支援隊)
【後援】 鎌倉市 鎌倉市教育委員会
【協力】 (一社)スマートサプライビジョン学校防災アップデート大作戦!プロジェクト、(株)ANTZ
【会場】 鎌倉商工会議所地下ホール (鎌倉市御成町17-29)
会場に駐車場はありません。公共交通機関等をお使いください

【問合先】 七七支援隊HP <https://77shintai.com/contact/>
中里 (090-3407-8699)

チケット 一般 1,500円 / 学生(大学生以下) 1,000円